

研究指導の概要

■ 山岳科学学位プログラム

【課程：博士前期課程】

学年	学期 モジュール	研究内容及び指導方法等
1 年 次	春	A 指導教員の下でのディスカッション等を通し、研究テーマ決定等を実施 指導教員を含む複数教員による アドバイザー・コミッティ の設置 研究計画の作成、発表、文献レビュー： 山岳科学セミナーIA
		B 山岳科学とは何かを理解すること、山岳における安全管理を修得すること、および 研究のための基礎知識を身に付けることを目的とした科目の履修： 山岳科学概論 A、フィールド安全管理学 他
		C 山岳科学を身に付けるために、集中形式で山岳科学のフィールド実習を夏季休業中 を含め実施： 山岳フィールド実習A 他 研究の実施： 山岳科学研究I
	秋	A 研究中間報告、文献レビュー： 山岳科学セミナーIB 授業科目の受講（フィールド実習含む） 研究の実施： 山岳科学研究I
		B 研究の進捗状況の評価： アドバイザー・コミッティ での評価 山岳科学学術集会 における発表と議論：研究成果を 連携大学（信州大学、静岡大 学、山梨大学） とともに山岳学術集会で発表する。学術集会は学会形式で実施し、 学生が他大学や他分野の学生・教員と議論する場を提供する。 発表賞 等を設け、学 生の研究意欲をエンカレッジメントする。
		C コンピテンス達成度評価を行う。
2 年 次	春	A 研究中間報告、文献レビュー： 山岳科学セミナーII B
		B 授業科目の受講（実習含む）：2年次学生は、 連携大学の講義・実習 も履修するこ とができる。
		C 研究の実施： 山岳科学研究II
	秋	A 研究中間報告、文献レビュー： 山岳科学セミナーII B 研究の実施： 山岳科学研究II 研究の進捗状況の評価： アドバイザー・コミッティ での評価、指導教員は 中間報 告書 を作成し、進捗状況を評価する。
		B 山岳科学学術集会 における発表と議論：研究成果を 連携大学（信州大学、静岡大 学、山梨大学） とともに山岳学術集会で発表する。学術集会は学会形式で実施し、 学生が他大学や他分野の学生・教員と議論する場を提供する。 発表賞 等を設け、学 生の研究意欲をエンカレッジメントする。
		C コンピテンス達成度評価を行う。 修士論文の発表会の実施 修士論文の審査